

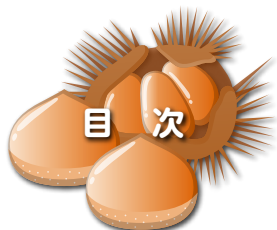
開かれた議会を目指して 議会報告会を開催

10月22日と23日の2日間、市内4会場で議会報告会を開催しました。ご多用のところ ご来場いただきました皆様方には心から御礼申し上げます。

議会報告会は、議員と市民が情報や意見を交換する貴重な機会です。当日いただいた貴重なご意見やご提言は、今後の市政運営や議会運営、議員活動の参考とさせていただきます。皆様方との交流を通じて、議会の機能をさらに高めて参りますので、ご理解とご支援をよろしくお願いたします。



写真：(左上) 総合会館 (右上) 荒川公民館
(左下) 北蟹谷スポーツセンター (右下) 津沢コミュニティプラザ



補正予算の概要	2	市外からの行政視察	11
副議長あいさつ	2	傍聴のお知らせ等	11
人事案件等	2	閉会中委員会開催状況	12
審議議案・議員別賛否状況	3~4	議会事務事業評価	13
審議経過	4	委員会報告・次回議会日程等	14
議員構成	5	会務報告	15~16
代表・一般質問	6~10	編集後記	16

一般会計補正予算・条例改正など

17議案を議決しました

9月4日から25日までの22日間を会期として9月定例会を開会しました。
9月定例会では、市長から平成27年度小矢部市一般会計補正予算、条例の改廃、教育委員会委員の任命同意など議案16件、議員から議員提出議案1件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

なお、平成26年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案については、新たに設置した決算特別委員会にて12月まで継続審査とすることになりました。

その他、法令等に基づく報告事項が3件あったほか、請願1件と陳情1件を処理し、議員派遣を可決しました。

◎ 補正予算の概要

議案第37号 平成27年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）
補正額 3億5,641.4万円 累計予算額 143億6,996万円

《主な事業》

- ・ 財政調整基金積立金 2億円
- ・ 地域医療介護総合確保基金補助金 4,607.6万円
- ・ 子育て情報ホームページ作成業務委託費 500万円
- ・ まちなか等振興事業費補助金 1,180万円
- ・ 観光用紹介DVD作成業務委託費 400万円
- ・ 新図書館整備実施設計策定業務委託費 3,900万円

議案第38号 平成27年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 50万円 累計予算額 1億5,350万円

《主な内容》

繰越金の確定に伴う一般会計繰出金の増額

議案第39号 平成27年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 6,341.1万円 累計予算額 36億6,071.1万円

《主な内容》

後期高齢者支援金と前期高齢者納付金の増額・繰越金の確定に伴う償還金と財政調整基金積立金の増額

議案第40号 平成27年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 118.8万円 累計予算額 8億1,668.8万円

《主な内容》

繰越金の確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額

議案第41号 平成27年度小矢部市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 1,045万円 累計予算額 1億7,465万円

《主な内容》

維持管理事業費の増額

※補正予算の詳細は、市ホームページの財政課予算情報ページをご覧ください。

副議長 就任 あいさつ



副議長（第53代）

義浦

英昭

このたび、議員の推挙によりまして、名誉ある小矢部市議会副議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄であり、心から感謝申し上げます。

このうえは、石田議長のもと、議会が公正かつ円満に運営されるよう、粉骨砕身の決意で、市政の進展と議会の円滑な運営のため、誠心誠意努力してまいる所存であります。どうか、市民の皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

人事案件

◎ 教育委員会委員の任命同意

ふるむら 古村 正明 氏（西町）
まさあき

特別委員会の設置

特定の付議事件を審査又は調査するため、次の特別委員会を設置しました。

決算特別委員会

平成26年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案を審査するため設置しました。（委員11名）
（委員構成は5ページを参照ください）



9月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井 中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
補正予算	議案第37号 平成27年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号 平成27年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号 平成27年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号 平成27年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号 平成27年度小矢部市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定 改廃	議案第42号 小矢部市道の駅条例の一部改正 ・現行の施設管理体制が複雑であることから、施設管理の一元化を図るため、条例の一部を改正するもの。(平成28年4月1日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号 小矢部市個人情報保護条例の一部改正 ・番号法(マイナンバー制度)の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。(平成27年10月5日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第44号 小矢部市税条例の一部改正 ・地方分権の観点から、地方税の猶予制度(徴収猶予・換価の猶予)と減免措置については、地域の実情に応じて条例で定めることとされたため、条例の一部を改正するもの。(平成28年4月1日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号 小矢部市手数料条例の一部改正 ・番号法(マイナンバー制度)の施行に伴い、通知カードと個人番号カードの再発行に係る手数料を定めるため、条例の一部を改正するもの。(平成27年10月5日・平成28年1月1日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正 ・地方分権の観点から、地方税の猶予制度(徴収猶予・換価の猶予)と減免措置については、地域の実情に応じて条例で定めることとされたため、条例の一部を改正するもの。(平成28年4月1日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号 小矢部市総合会館条例の一部改正 ・施設の管理運営方法を指定管理者制度から直営に変更するため、条例の一部を改正するもの。(平成28年4月1日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号 小矢部市勤労青少年ホーム条例の一部改正 ・施設の管理運営方法を指定管理者制度から直営に変更するため、条例の一部を改正するもの。(平成28年4月1日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号 小矢部市体育施設条例及び小矢部市文化スポーツセンター条例の一部改正 ・夜間照明施設(若林運動公園グラウンドの夜間照明施設を除く。)と文化スポーツセンターに利用料金制度を導入するため、条例の一部を改正するもの。(平成28年4月1日から施行)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第50号 小矢部市美術活動拠点施設整備基金条例の廃止 ・アートハウスおやべが完成し、基金のすべてを整備事業に充てたため、条例を廃止するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第51号 平成26年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について ・地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定により、剰余金の処分を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意第3号 小矢部市教育委員会委員の任命 (人事案件の概要は2ページを参照ください)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	請願第7号 T P P 交渉に関する請願 請願者 農民連(農民運動全国連絡会) 砺波支部小矢部班代表 辻慶輝(紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議員提出議案	議員提出議案第4号 小矢部市議会会議規則の一部改正 ・近年の男女共同参画の状況に鑑み、出産に伴う議会及び委員会の欠席に関する規定を新たに設けるため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は表決に加わりません

9月定例会で報告された事項

財政状況等報告	報告第5号	平成26年度小矢部市継続費精算報告
	報告第6号	健全化判断比率の報告
	報告第7号	資金不足比率の報告

9月定例会で継続審査とされた決算認定議案

決算認定議案	認定第1号	平成26年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
	認定第2号	平成26年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
	認定第3号	平成26年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定第4号	平成26年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
	認定第5号	平成26年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
	認定第6号	平成26年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
	認定第7号	平成26年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算
	認定第8号	平成26年度小矢部市水道事業会計決算

陳情の処理状況

陳情	<p>陳情第1号 地域の誇りに関する陳情書 陳情者 おやベルネサンス市民会議委員 とやまふるさとの会 加賀谷辰夫 五十嵐清</p>	採択
----	---	----

25日	24日	18日	17日	16日	15日	14日	11日	10日	9日	8日	4日								
本会議（質疑・討論・表決他）	全員協議会	議会運営委員会	駅前周辺整備特別委員会	委員長会議	決算特別委員会	総務常任委員会	人口対策等特別委員会	産業建設常任委員会	駅前周辺整備特別委員会	民生文教常任委員会	本会議（一般質問）	本会議（代表・一般質問）	議会運営委員会	議案調査日	議案調査日	議案調査日	全員協議会	本会議（提案理由説明）	本会議

9月定例会の
審議経過

（会期22日間）

議会議員構成

議 長	いしだ よしひろ 石田 義弘	副 議 長	よしうら ひであき 義浦 英昭
総務常任委員会	委員長 藤本雅明 委員 石田義弘	副委員長 加藤幸雄 委員 尾山喜次	砂田喜昭
民生文教常任委員会	委員長 中田正樹 委員 吉田康弘	副委員長 山室秀隆 委員 白井 中	嶋田幸恵 沼田信良
産業建設常任委員会	委員長 福島正力 委員 中野留美子	副委員長 義浦英昭 委員 中西正史	よしうらひであき 義浦英昭 みやにしきさく 宮西佐作
議会運営委員会	委員長 中西正史 委員 吉田康弘	副委員長 沼田信良 委員 藤本雅明	福島正力 中田正樹
駅周辺整備特別委員会	委員長 尾山喜次 委員 中野留美子 砂田喜昭	副委員長 吉田康弘 委員 義浦英昭	藤本雅明 福島正力 中西正史
人口対策等特別委員会	委員長 沼田信良 委員 山室秀隆	副委員長 中田正樹 委員 加藤幸雄	白井 中 嶋田幸恵 宮西佐作
決算特別委員会	委員長 宮西佐作 委員 中野留美子 福島正力	副委員長 中田正樹 委員 山室秀隆 嶋田幸恵	加藤幸雄 藤本雅明 尾山喜次 砂田喜昭
議会だより編集委員会	委員 藤本雅明	福島正力	中田正樹 石田義弘

議会選出委員等

監 査 委 員	沼田信良
小矢部川中流水害予防組合議会議員	白井 中 石田義弘 宮西佐作
砺波地方衛生施設組合議会議員	吉田康弘 福島正力 中西正史
砺波地方介護保険組合議会議員	義浦英昭 石田義弘 嶋田幸恵 宮西佐作
砺波地域消防組合議会議員	藤本雅明 白井 中 中田正樹 沼田信良
高岡地区広域圏事務組合議会議員	吉田康弘 藤本雅明 中西正史
民生委員推薦会委員	山室秀隆 義浦英昭
国民健康保険運営協議会委員	白井 中 中西正史 砂田喜昭
上水道審議会委員	加藤幸雄 福島正力 沼田信良
市勢総合計画審議会委員	義浦英昭 藤本雅明 福島正力 中田正樹 石田義弘
公害対策審議会委員	中野留美子 加藤幸雄 吉田康弘
都市計画審議会委員	山室秀隆 吉田康弘 福島正力 石田義弘 尾山喜次
交通安全対策協議会委員	義浦英昭
有線テレビジョン放送番組審議会委員	石田義弘
寿永荘運営委員会委員	藤本雅明 福島正力 中田正樹
小矢部市土地開発公社理事	中野留美子 山室秀隆 砂田喜昭
公益財団法人クロスランドおやべ理事	嶋田幸恵 尾山喜次 宮西佐作

平成 27 年 9 月 25 日現在



会派「誠流」
なかにし
中西 正史
議員

◎稲葉山について ◎中小企業大学校について

◎稲葉山について

質問 これまで稲葉山は県西部の公共育成牧場としての役割、そして優良肉質牛の生産供給拠点としての役割を果たしてきた。昨今、本市を取り巻く環境が大きく変化する中で、稲葉山に対する期待が以前とは比較にならないほど大きくなっている。一方で、優良肉質牛の生産供給に携わる人材の見通しや市財政から投入されている公費等を考えると、現在の形態をそのまま続けてよいものか懸念しているところである。民間の活力やノウハウも取り入れ、稲葉山全体を捉えた稲葉山総合計画を立ち上げ、将来に向けて展開を図っていくべきではないかと思うが、市長の見解を問う。

市長 稲葉山牧野は、昭和41年の開設当初は乳用牛の預託育成が主であったが、平成15年から和牛の繁殖肥育一貫生産に取り組み、平成22年には「稲葉メルヘン牛」を商標登録するなど、優良肉質牛の生産供給拠点として重要な役割を担ってきた。現在は年間80頭の出荷を目標としており、今後さらにその上を目指していきたいと考え

ている。観光面では、平成10年に稲葉山山頂にミニ動物園として稲葉山ふれあい動物広場をオープンさせ、平成23年には駐車場の新設や展示スペースの改修を行ってきた。現在、年間3万人もの入園がある施設となり、稲葉山山頂エリアは市内でも有数の観光地となっている。また、バイオマス活用推進の観点から、稲葉山では牧場から出る牛糞を堆肥化して牧草地で散布する循環型農業を実践しており、環境に配慮した農業生産に取り組んでいる。畜産振興の拠点としつつも、第6次総合計画においては、「稲葉山・宮島峡癒しの観光ゾーン構想」として位置付け、将来に向けて一体的に整備することにより、多くの人々が気軽に訪れる観光地を目指す長期ビジョンも描いている。アウトレットモールの開業効果も生かし、稲葉山が宮島峡と一体となった身近な観光地となるよう、産業建設部を中心とした庁内の関係課による検討委員会を立ち上げ、稲葉山総合計画ともいうべき中長期的なプランをしっかりと検討していきたい。

代表質問

◎中小企業大学校について

質問 中小企業庁は、地方研修施設構想に基づき、全国12ブロックのうち9ブロックに中小企業大学校を開設しているが、平成7年の南九州ブロック校(熊本県人吉校)を最後に開設していない。本市は、北陸ブロック校を誘致するため平成6年に約6.9haの土地を1億270万円で購入し、県を通じて開設の要望を行っているが、20年余りその土地は塩漬けのままになっている。現在、山林保全是不能に陥り、有害鳥獣被害も増加している状況である。私自身、少しでも前進させたいという思いであり、今後進展があることを期待しているが、市長の見解を問う。

市長 中小企業大学校は、ものづくりを支える中小企業の発展や地域経済の活性化を目的に、中小企業の経営者・管理者や支援担当者を対象として、各地域の経済産業の特色やニーズに対応した高度な研修を行うため、現在まで全国の12ブロックに9校が開校されている。県では北陸ブロック校の開設に向け、昭和55年から国等へ継続的に要望を行っており、平成5年

には県内の候補地として本市を選定した。本市では平成6年に北陸自動車道小矢部ICに近い南部丘陵地である平桜・小森谷地内に約6.9haを取得したものである。しかし、平成7年の熊本県人吉校の開設を最後に、残り3ブロック(北陸・四国・西東北)の整備が計画未定のまま現在に至っており、県内の受講者は愛知県瀬戸校や新潟県三条校で受講している状況である。県では富山県中小企業大学校として、研修テーマを設け時代に即応した講義を実施している。このことを考慮すると、中小企業大学校は、今なお地域における中小企業の発展や振興、人材育成のために重要な施設だと考えている。国では中小企業大学校の今後のあり方について検討されているようだが、その方向性が明らかにされない間は、開設に向けて要望を継続すべきだと考えている。しかしながら、候補地の用地を取得して20年余りが経過し、いわゆる塩漬け状態が長く続いていることから、県とも協議し、今後中小企業大学校に替わる研究施設、公的施設等の誘致についても考えていきたい。

- ◎アウトレット効果と活用について
- ◎無料職業紹介所の新設について
- ◎明るい超高齢社会を目指して



白井 中 議員

質問 アウトレットモールには1500〜2000人の雇用が生まれるとの触れ込みであったが思ったほど成果が上がっていないのではないかと。本市の有効求人倍率が高い数値で推移しているが、今後、地元雇用はとなると考えているか。

企画室次長 アウトレットモールのオープンが7月であり、新規学卒者の採用が間に合わなかったことも人手不足の要因として考えられる。現在、県高等学校キャリア教育アドバイザーと連携し、情報共有を図りながら、地元雇用の拡大に努めている。今後は、毎年新規学卒者を採用する機会があるので、人手不足は緩和されると考えている。

質問 団塊の世代が退職し、少子高齢化が進む中で、雇用対策は最重要課題のひとつである。労働力の需給調整を行う職業紹介事業は、今後さらに積極的な役割を果たすことが求められている。本市においても無料職業紹介所の開設を検討すべきではないか。

企画室次長 地方公共団体による無料職業紹介事業は、管轄の労働局を経て厚生労働大臣

に事業届出書を提出することで開設することができ、職業紹介責任者や専門職員の育成・配置が必要になる。運営に係る人件費や事務費等を考慮するとハローワークとみな小矢部出張所が所在する本市においては慎重に考える必要がある。そのため、ハローワークと本市の専門的知識を生かしつつ、相互の役割を尊重し連携を図りながら、雇用者と求職者のマッチング支援を推進していきたいと考えている。

質問 厚生労働省では、来年度から後期高齢者の保健事業の充実として栄養指導等のモデル事業を実施するとされている。従来のメタボ対策からフレイル対策*への円滑な移行に取り組みとされているが、その内容はどのようなものか。

民生部長 モデル事業の詳細な内容は発表されていないが、詳細が決まり次第、関係課と連携して高齢者のフレイル予防に取り組みしていきたい。今後、フレイル状態の早期把握等に取り組むことで健康寿命の延伸を目指していきたい。



加藤 幸雄 議員

- ◎鳥獣被害の状況と対策について
- ◎小矢部市都市計画マスタープランについて
- ◎小矢部市人口ビジョン（案）から見る対策について
- ◎図書館の利用について

質問 今年に入り、イノシシの捕獲数が激増している。有害鳥獣対策協議会では捕獲したイノシシの活用について協議しているのか。

農建設部長 これまでは農作物被害の拡大防止を目的として、研修会の開催や電気柵・捕獲用檻の整備を図ってきたが、イノシシの捕獲数が増えていることから、今後は捕獲後の処理についても協議していきたいと考えている。

質問 現在策定中の都市計画マスタープランは20年後の都市の姿を展望しているとのことだが、少子高齢化がより一層進展する社会を想定した計画となっているのか。

産業建設部長 今後予想される急激な人口減少と高齢化を踏まえ、高齢者にとって、健康で快適な生活環境を実現するために、歩いて暮らせる集約型まちづくり、いわゆるコンパクトなまちづくりを形成することが重要だと考えている。

質問 人口ビジョン（案）では2060年の目標人口を2万2千人と設定し、2040年以降の合計特殊出生率を2・07にまで引き上げるとしている。かなり厳しい設定だ

と思うが、どのような方策を考えているのか。

副市長 目標人口の達成には総合戦略に掲げる4つの基本目標を確実に推進していく必要があるが、特に合計特殊出生率については、市民一人ひとりが人口減少問題を将来の社会保障にも影響する個々の問題として捉え、今何をすべきかを考えて、ともに実行していくことが重要だと考えている。

質問 昨年度の市民図書館の入館者数は約6万人、おとぎの館は約3万人とのことである。市民図書館の入館者数がかなり少ないと思うのだが、魅力ある図書館とどうあるべきだと考えているか。

教育委員会委員長 現市民図書館は施設の老朽化、利用のしづらさ、スペース不足等の課題がある。魅力ある図書館とは、子どもから高齢者まで全ての市民がくつろぎと安らぎの中でいつでも気軽に利用できる施設であり、現在策定中の新図書館基本設計業務では、「気軽に立ち寄って、居心地よく、学べる図書館」を基本理念に検討している。

*用語解説
「フレイル」……日本老年医学会が提唱する高齢者の筋力や活動が低下する状態（虚弱）。

◎教育委員会制度改革と総合教育会議について
◎中学校教科書の採択について
◎ふるさと納税制度について



中田 正樹 議員

質問 教育委員会制度の改革により、新教育長の責任が格段に重くなったが、どのよう
に受け止めているか。また、
市長が教育行政において果た
す責任や役割が明確になった
が、市長の意気込みを問う。

教育長 私自身、これまでも
回避することなく責任をもつ
て職務にあたってきた。経過
措置ということで本来の新教
育長ではないが、問題が生じ
た場合には矢面に立って解決
することは当然の責務である。

市長 これまで以上に教育委
員会と連携し、学校や子ども
たちの教育環境を良くするた
め、しっかりと取り組んでいく
ことを約束したい。

質問 今年8月、来年度から
中学校で使用される教科書が
採択された。義務教育におい
ては、道徳や公共の精神、規
範意識、国や郷土を愛する心
を育むことが重要である。今
回採択された教科書では「国
旗・国歌」、「領土」、「近現代
史」の記述はどのように変わ
ったのか。

教育委員会委員長 「国旗・国歌」に
ついては公民や歴史の教科書
で記述の改善や内容の充実が
図られている。「領土」につ

いては歴史と地理の教科書で
学習指導要領の内容が十分に
記述されている。「近現代史」
については実際に様々な議論
があるということも記述され
ている。社会の教科書は検証
すべき項目が多岐にわたって
おり、課題も多い状況である
が、今回採択された教科書に
ついては適切な記述がなされ
ていると理解しており、内容
の充実も図られていると思っ
ている。

質問 ふるさと納税は、自分
を育んでくれた自治体に自ら
の意志で寄附できる趣旨で生
まれた制度であるが、本来の
趣旨から離れてしまっている。
例えば、大都市の自治体に就
職した場合には、高校卒業ま
で住んでいた自治体に数年間
税金が入る仕組みに改めると
いう発想の転換が必要ではな
いか。地方創生の理念にかな
った新制度として国に提唱す
る考えはないか。

企画室長 新たな税制への転
換は国の税制の根幹に関わる
問題である。本市が今すべき
ことは、大都市に進学した若
者のUターンを促進する取組
だと考えている。

◎小矢部市総合戦略策定について



藤本 雅明 議員

質問 総合戦略は、将来の人
ロビジョンをもとに、本市の
実情をしっかりと反映させて
策定する必要がある。総合戦
略の策定に向け、本市が最優
先に取り組みべき課題・施策
はどのようなものか。

市長 最優先に取り組みべき
課題・施策は人口減少対策で
ある。これまで各種の定住促
進施策や子育て支援施策等に
積極的に取り組んできた結果、
社会動態において若干の改善
が認められた。アウトレット
モールの誘致により、既存企
業の事業拡大、新たな産業や
起業機会の創出、近隣市から
通勤する若い女性の急増等の
効果が現れてきている。この
機会を最大のチャンスと捉え、
定住促進と人口増加につなげ
るために「女性」をキーワー
ドとした施策を掲げ、総合戦
略の策定に取り組んでいきたく
い。

質問 国は、総合戦略の進捗
に関して、重要業績評価指標
(KPI)*で検証し、PDC
Aサイクル*を通じて改善を
進めていくこととしている。
今後、進捗状況や効果の把握
はどのように管理していくの
か。

企画室長 PDC Aサイクル
を確立し、外部組織である「お
やベルネサンス市民会議」の
参画を得て、KPIを軸とし
た施策の点検・評価を定期的
段階的に行い、達成・進捗状
況が思わしくない施策につい
ては、優先度に応じて重点的
に取り組みなど改善に結び付
けていきたいと考えている。

質問 近隣市と比べると、本
市には気になる子どもを早期
発見し、支援する仕組みが構
築されている。子育て相談窓
口である「こあら相談会」に
ついて問う。また、子どもが
外で遊ばなくなったことで、
ことばの発声に大切な体幹が
育ちににくいと聞いている。「こ
とばの教室」の今後の対応に
ついて問う。

民生部次長 「こあら相談会」
の相談件数は増加しているが、
発達の遅れに対する理解が得
られにくく、専門機関へつな
ぐことができない状況がある。
また、体や手先を動かす運動
がことばの発達に効果的であ
るとされているので、今後、
「ことばの教室」に作業療法
士の勤務を計画していきたい。

*用語解説
「重要業績評価指標 (KPI)」
…… 施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。
「PDC Aサイクル」
…… PLAN (計画)、DO (実施)、CHECK (評価)、ACTION (改善) の4つの視
点をプロセスの中に取り込むことで、継続的な改善を推進するマネジメントの手法。



砂田 喜昭 議員

- ◎市長は戦争法案廃案を表明してください
- ◎認知症は治る、
そのためにも介護職員の処遇改善と教育で介護職場の改善を
- ◎少人数学級の実現と多人数学級支援講師対象学年の拡大を
- ◎特定健診と厚生連高岡病院の半日ドックの活用について
- ◎完全米飯給食と地産地消の推進について
- ◎新子ども・子育て支援制度による保育料の算定と減免制度について

質問 国会での審議を通じて、戦争法案が日本の安全を守るためどころか、外国でアメリカの戦争に加担する内容であることが明らかになった。日本共産党が取り組んでいる市民アンケートでは、戦争法案反対の声が圧倒的多数で届いている。市長はこうした市民の声をどのように受け止めているのか。

市長 市民の中に多様な意見があることは認識している。市政を預かる者として市民の願いや託された思いに応えたいと思うが、外交防衛の分野は国の専権事項であるため、参議院において充実した審議をお願いしたいと思っている。

質問 私は「家族で治そう認知症」講座で認知症は治せるということを学んだ。「認知症あんしん生活実践塾」を誘致し、高齢者介護事業所の水準を高めれば、元気で長生きの社会にできる。そのためにも、介護職員の処遇改善と教育で介護職場の改善を図ることが重要だ。見解を問う。

民生部長 いろいろな認知症対応策に取り組んでいるが、「認知症あんしん生活実践塾」についても広く情報を収集し考えてみたい。平成27年度の介護報酬改善により職員の処遇改善には研修の実施が必須

となった。介護職員の技能・能力向上は、サービスの質の向上のためにも必要な施策だと考えている。

質問 日本共産党は、防衛費などの国の予算の使途を見直し、国の制度として小中学校の35人学級を計画的・段階的に実現する提案を行っている。市としても要望してほしいと思うが、見解を問う。

教育長 35人学級の拡大については、特に支援が必要な児童の増加等により適用拡大を求める声が多いことから、関係団体を通じて国・県に要望しているところである。

質問 厚生連高岡病院の半日ドックは検査項目が充実しており、早期発見・早期治療に役立つ。市民の健康を守るため、本市も高岡市と同様、いざば農協に対して助成をしてはどうか。

民生部長 ドック助成は、原則、市内医療機関を対象としており、北陸中央病院での受け入れが困難になった場合に検討することになる。

※その他、次の質問がありました。「完全米飯給食と地産地消の推進について」「新子ども・子育て支援制度による保育料の算定と減免制度について」



嶋田 幸恵 議員

- ◎アウトレット開業に伴う交通及び治安対策について
- ◎障害者を取り巻く環境整備について
- ◎介護人口増加に伴う人材育成及び確保について

質問 アウトレットモールがオープンして、多くの観光客が本市を訪れている。治安対策を強化してほしいと思うが、どのように考えているか。見解を問う。

市長 小矢部警察署によるパトロールの強化や防犯協会による巡回活動の実施に加え、地下通路に防犯カメラ4台を新設するため本定例会に関連予算を計上し環境整備に努めている。引き続き、関係機関と協力して、周辺地域の防犯対策に取り組みたいと考えている。

質問 障害者の防災対策については日頃からの防災訓練が重要だと思う。障害者の総合防災訓練の参加状況と対応はどうなっているか。

総務部次長 現状では重度の視覚・聴覚障害者は総合防災訓練には参加していない。現在避難行動要支援者名簿対象者の中で、自主防災組織や民生委員児童委員に個人情報提供することに同意した方々の名簿を作成しており、9月中にも各地区の自主防災会に提供する予定にしている。この名簿を活用して、来年度以降

の総合防災訓練では障害者の避難誘導や避難所における支援等の訓練を盛り込みたいと考えている。また各地区の防災訓練においても同様に訓練されるよう、自主防災組織連絡協議会を通じて働きかけていきたい。

質問 福祉大学を本市に誘致してはどうか。福祉大学であれば実習病院があり、卒業後の就職先もある。本市の人口増加につながることも、福祉人材の確保もできると考えるが、見解を問う。

民生部長 福祉大学を誘致することで福祉人材の確保や若者人口の増加につながると思うが、県内の介護福祉士養成校の入学者の状況を見ても、今年度は定員に対して54・7%の充足率となっている。今後、より一層少子化が進むと見込まれることから入学者の確保が困難になるだけでなく、相手先や用地・設備等に巨額の費用が必要になることから、現段階ではかなりの困難を伴うものと考えている。今後、本市全体の中長期的な施策として検討していきたい。



中野留美子 議員

質問 アウトレットモールと市が両者の強みを發揮し、より高い事業効果を上げることが目的として、ニーズを捉えたタイアップ事業を企画し、実施すべきではないか。

企画室次長

クロスランドおやべでは、8月にアウトレット

モールが実施した「夏休みわくわくスタンプラリー」に参加し、タワーへの誘客に取り組んでいる。さらに今後もアウトレットモールとタイアップ事業を継続的に実施したいと考えており、既に次の企画に向けて11の提案をもとに具体的話し合いを始めている。

アウトレットモール来場者に市内施設を周遊していただけるよう、市では、市内施設とのタイアップ事業をアウトレットモール側に働きかけるとともに、事業効果が高まるよう広域観光案内所をはじめとした情報発信に取り組んでいきたい。

質問 アウトレットモールの開業で期待が高まっているときにスピード感を持って新たな事業を展開することが重要である。おやべ光のまち創出事業は2年間の事業計画を1年間の計画に練り直したこ

とは素晴らしいと思う。あらためて、おやべ光のまち創出事業の事業内容とスケジュールについて問う。

企画室長

おやべ光のまちプロジェクトは、クロスランドおやべ等をイルミネーションでライトアップすることで、市内の回遊と交流の創出を目的として実施するものである。

クロスランドおやべのイルミネーションについては、11月下旬を目途に、タワー周辺や交流広場に整備し、メルヘンチックな世界を演出したいと考えている。

質問 子どもたちが安全に安心して相談できるようインターネット上に相談窓口をつくり、適切なアドバイスがなされる環境を望んでいる。本市の家庭児童相談室の現状はどのようになっているのか。

民生部次長

家庭児童相談室への昨年度相談件数は1023件であり、児童生徒からの相談は4件、その他は保護者や関係者からであった。子ども

の悩み等に対しては、小中学校と連携しながら、家庭と子どもに最も効果的な援助ができるよう相談業務を進めていきたい。



山室秀隆 議員

質問 選挙年齢の引き下げに伴う対応について、政治や選挙への関心を高めるため、市長が学校に向いて子どもたちに出前講座を実施し、市政に対する考え方やまちづくりの思いを伝えてはどうか。

企画室長

出前講座の実施は、愛郷心を育む機会となり次世代を担う人づくりにつながると思うが、対象学年や講座内容の選定等のほか、学校の年間行事日程との調整が必要であり、学校や教育委員会と十分な協議が必要だと考えている。

質問 観光客が初めて宮島峡を訪れる際、道路の幅員が狭い箇所やカーブが連続する箇所に着くのがわからず不安になると思う。今後、案内標識を設置する考えはないのか。

産業建設部長

宮島公民館駐車場の観光案内看板については、今年度、一の滝や二の滝など周辺観光地までの距離を表記したものに整備する予定である。宮島峡はアウトレットモールからも近く、本市を代表する観光地であることから、わかりやすい案内に努めていきたい。

質問 本市には30〜34歳の技術職員が1人もいない。U・I・Jターン*も考慮して、本市への定住を条件に社会人選抜を実施するなど、職員採用年齢の引き上げを検討すべきでないか。見解を問う。

総務部次長

地方公務員法上、定住を条件にすることは困難だと思いが、受験資格を社会人経験者とし、年齢要件を引き上げることが視野に入れ、検討しているところである。

質問 地方創生の一環として、U・I・Jターンする女子ホッケー選手を受け入れる企業への支援を検討してはどうか。本市の特色を生かし、若い女性を選手として生活できる環境をつくることは少子化対策の布石になると思う。見解を問う。

教育委員会次長

現在も特別な支援は行っていないし、ホッケー選手のための企業受け入れ支援は考えていない。若い女性の雇用や定住は、現在策定中の総合戦略の中でも主要な施策として位置付けるべき課題であるため、女子ホッケー選手も含め、総合的に取り組んでいかなければならないと考えている。

質問 本市には30〜34歳の技術職員が1人もいない。U・I・Jターン*も考慮して、本市への定住を条件に社会人選抜を実施するなど、職員採用年齢の引き上げを検討すべきでないか。見解を問う。

- ◎三井アウトレットパーク北陸小矢部とのタイアップ事業について
- ◎おやべ光のまち創出事業について
- ◎小矢部市家庭児童相談室の現状について

- ◎選挙年齢引き下げに対する市の対応について
- ◎宮島峡周辺環境整備について
- ◎市職員の採用について
- ◎ホッケーで地方創生について

*用語解説
 「Uターン」…… 地方から都市へ移住した後、再び出身地へ移住すること。
 「Iターン」…… 地方から都市へ、または都市から地方へ移住すること。
 「Jターン」…… 地方から都市へ移住した後、出身地近くの地方へ移住すること。

■ 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成27年6月27日～9月3日)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
27. 7. 1	栃木県真岡市議会 (総務常任委員会)	7	1	・空き家の適正管理・活用制度について
7. 7	新潟県阿賀野市議会 (産業建設常任委員会)	6	1	・農業経営法人化の取組について
7.24	東京都墨田区議会 (会派)	12	-	・放課後出前教室について ・おやべスポーツクラブの取組について
7.27	兵庫県三木市議会 (会派)	2	-	・アウトレットモールの誘致について
7.29	奈良県葛城市議会 (厚生文教常任委員会)	7	3	・認知症安心ネット「小矢部市認知症地域支援体制構築等推進事業」について
8. 6	京都府南丹市議会 (厚生常任委員会)	7	2	・高齢者地域支援事業について ・富山型デイサービスについて
8.10	福井県永平寺町議会 (総務常任委員会)	6	4	・アウトレットモール誘致に至る経緯とその効果(見込み)について
//	埼玉県深谷市議会 (会派)	6	-	・アウトレットモールのオープンまでの概要について
8.18	兵庫県高砂市議会 (会派)	7	-	・環境センターにおけるごみの持ち込みについて
8.21	大阪府守口市議会 (会派)	4	2	・公民館事業と社会教育について



小矢部市議場

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。傍聴席は43名分あります。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話、口頭による申し込みはできません。



小矢部市議会 議会中継ページ

<http://www.gikai-web.com/dvl-oyabe/2.html>

録画映像インターネット配信

より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、小矢部市議会のホームページで本会議の録画映像を配信しています。

録画映像は、本会議開催日のおおむね1週間後から配信しています。小矢部市議会のホームページの「議会中継」をクリックして、ご覧ください。(議会開催年や発言者を選択してご覧いただけます。)

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

8月4日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎「防災ハンドブック2016」協働発行に関する協定について

(株)ゼンリンとの間で、防災ハンドブックの協働発行に関する協定を締結したと報告がありました。防災ハンドブックは来年4月に全世帯に配付される予定です。

◎防災訓練の実施について

今後の防災訓練の実施について開催案内がありました。

- 9月1日・シェイクアウト訓練(全住民対象)
- 9月27日・総合防災訓練(会場：蟹谷小学校)



総合防災訓練

産業建設常任委員会

8月18日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎小矢部フロンティアパークの分譲価格の改定について

不動産鑑定の結果等を考慮して、分譲価格が約2%引き下げられたと報告がありました。



小矢部フロンティアパーク

◎都市計画マスタープラン策定に係るパブリックコメントの実施について

都市計画マスタープラン(目標年次：平成45年)を策定するため、パブリックコメント(市民意見募集)を実施すると報告がありました。

民生文教常任委員会

8月7日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎市内介護老人福祉施設・介護老人保健施設での研修状況について

各施設における研修受講状況や研修内容について報告がありました。

◎介護保険事業者事故報告について

砺波地方介護保険組合管内と市内における事故報告の状況について報告がありました。

◎入所(園)児童数の推移及び乳児室・ほふく室等の状況について

保育所・幼稚園の入所(園)児童数(22~27年度の推移)と乳児室・ほふく室の状況について報告がありました。

◎アートハウスおやべ開館記念事業について

アートハウスおやべ(9月18日開館)の主な開館記念事業について報告がありました。

◎大谷利勝氏からの寄附採納願について

ふるさと教育の推進を目的に、大谷利勝氏(東京都)から不動産(土地)に係る寄附採納の申し出があったと報告がありました。

駅周辺整備特別委員会

8月18日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎石動駅乗降客数の調査結果について

石動駅の乗降客数調査(アウトレットモール開業前後)の結果について報告がありました。



石動駅

◎駅南駐車場等用地の変更について

駅南駐車場等用地として取得した一部の土地について位置を変更すると報告がありました。

◎駅周辺整備基本設計の策定について

基本設計に基づく施設概要(南北自由通路・駅施設・新跨線橋階段)、計画図、駅周辺整備全体平面図の報告がありました。

◎新図書館整備に係る進捗状況について

駅舎に合築する新図書館の概要、平面計画、平面図の報告がありました。

平成26年度議会事務事業評価報告

8月25日の全員協議会において、石田議長が桜井市長に議会事務事業評価報告書を手渡しました。

石田議長は、来年度以降、事務事業を見直す際の参考にするとともに各種施策の推進に向けて努力されるよう桜井市長に求めました。

Check!

議会事務事業評価とは…

議会として市当局と異なる視点から事務事業を評価し、今後の方向性を明らかにしようとするのが議会事務事業評価です。個別の事務事業の現状や課題等を共有することができるので、予算や決算を審議等する上でも役立っています。

人口対策等特別委員会

7月31日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎近隣市町における税金及び公共料金等の比較について

小矢部市と近隣市町(富山市・高岡市・砺波市・南砺市・金沢市・津幡町)の税率、国保税(料)限度額、上下水道料金や介護保険料等の公共料金を記載した資料をもとに比較結果の報告がありました。

総務常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成26年度 決算額	委員会評価
防災事業費	総務課	150,922	・防災行政無線が配備され、情報を提供する状況は整備されたが、今後は天候や環境により情報が伝わりにくいことの解消に努めること。 ・民間企業や他自治体と災害時協力協定を締結している状況の中、市で保管すべき備蓄品のあり方について検討していくこと。
定住促進対策事業費	企画政策課	59,917	・社会動態の増に一定の成果を上げているため、今後も継続して事業を進めること。 ・定住の受け皿である居住施設等については、現状を分析した上で対策を検討していくこと。
津沢コミュニティプラザ管理運営費	津沢コミュニティプラザ	7,984	・築12年以上経過し、維持管理費は今後も増加していくと思われるため、修繕については計画的に継続して行うこと。
サイクリングターミナル管理費	企画政策課	11,261	・施設の老朽化に伴い、経費の増が見込まれるため、修繕については長期の計画をもって取り組むこと。 ・今後の整備について、合宿で多く使用されている現在の利用状況も考慮しながら、個室の要望についても検討していくこと。

産業建設常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成26年度 決算額	委員会評価
集落営農法人化支援事業費	農林課	6,500	・法人化に向けた支援にとどまることなく、集落営農組織等が法人化した後も安定的・継続的に農業経営を行うことができるよう適切に指導やサポートを行うこと。
畜産振興費	農林課	2,409	・飼料用米の活用等を通じて、本市畜産物の高付加価値化を図ること。
企業立地対策費	商工立地振興課	22,358	・既存企業の意向を的確に把握するため、企業訪問の実施を前向きに検討すること。
観光推進費	観光振興課	45,049	・観光推進事業は、投入された事業費に対する事業効果がわかりにくい面はあるが、事業効果をしっかりと検証し、メリハリをつけて事業を遂行すること。
植生エントランス管理運営費	建設課	5,192	・引き続き、適正な管理運営に努めること。

民生文教常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成26年度 決算額	委員会評価
おやべ型1%まちづくり事業費	市民協働課	12,683	・本来の事業の趣旨に照らし、対象事業を精査すること。 ・補助申請手続を簡素化すること。 ・一般市民も含めた事例を発表する場を設けること。
障害者自立支援給付事業費	社会福祉課	395,258	・地域や企業に対し、障がい者雇用に関する理解を広げ、就労支援に努めること。
老人福祉対策費	健康福祉課	107,619	・寿永荘運営にあっては、利用者のニーズを的確にとらえ、今後の改善・充実に努めること。
高齢者地域支援事業	健康福祉課	76,445	・特に口腔ケアに努め、高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう支援すること。 ・高齢者福祉推進員の充実に努めること。
ひとり親家庭等福祉費	こども課	7,925	・貧困の実態を把握し、貧困の連鎖を防ぐよう対策を講ずること。
ひとり親家庭等医療費助成費	こども課	10,949	・引き続き、適正な事業実施に努めること。
図書館管理運営費	生涯学習文化課	29,186	・書庫スペースの確保に努め、利用しやすい図書館となるよう改善を図ること。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、防犯について、県の緊急地域防犯設備整備モデル事業費補助金は、市の防犯対策を進める上で有効に活用されているので、財政面から、今後も積極的に申請を行い、より良い事業につなげる事。

二点目は、防災について、全国で想定を超える自然災害が発生している。緊急時に、災害本部を設置する建物の非常用電源の確保は必要不可欠であることから、非常事態に対応する万全の体制を確立し、想定を超える災害に備えること。

三点目は、空き家の有効活用について、「空き家バンク」の利用者の拡充を図るためにも、地域の空き家情報をより多く収集し、定住促進につなげるシステムを早急に構築すること。

産業建設常任委員会

一点目は、道の駅メルヘンおやべについて、今定例会に、施設管理を一元化するための条例改正案が上程され10月から、来年度以降の指定管理者の募集を行うとのことだが、新たな管理方法への円滑な移行と適正な運用に向けて、しつかりと準備を進めること。

二点目は、市内企業への事業支援について、地域経済の活性化を図るため、企業誘致を推進することは重要であるが、市内既存企業へのフォローもまた重要である。日頃から市内企業とコンタクトを取り、情報収集に努めるとともに、定期的な企業訪問の実施についても前向きに検討すること。

民生文教常任委員会

一点目は、都市再構築戦略事業の中で計画されている新図書館の整備については、計画段階から基本設計に進み、課題や解決すべき点が明らかになってきている。今回の補正予算により、いよいよ実施設計に着手するわけだが、その際には、議会と十分協議し、合意の上で事業の執行にあたること。

二点目は、市が所有している公共施設について、建築から相当の期間を経過している施設が散見され、そのうちの多く施設に、経年による汚れ、老朽

化による劣化個所が見受けられる。また、生活様式の変化により、トイレや階段等が利便性の悪い設備となっている。公共施設の統廃合が進められていく中ではあるが、現に市民が使用している施設であることから、少しでも利便性、快適性が図られるよう計画的に改修整備していくこと。

三点目は、アートハウスおやべについて、長い時間をかけ、十分協議を重ねてきた本市で初となる美術活動拠点施設が9月18日にオープンした。アートハウスおやべを最大限に活用し、市民が気軽に美術に触れ合えるよう、特に明日を担う子どもたちが創作活動を通して心豊かに育つよう、他にはない特色を生かした事業を展開していくこと。

平成27年度 議長交際費支出状況

平成27年4月～平成27年9月 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	10	117,000
① 御祝・寸志	2	40,000
② 激励金	5	56,000
③ 香典・供物	3	21,000
2 協賛費	10	63,462
3 会費・懇談会費	16	129,000
4 その他	11	86,260
合計	47	395,722
平成27年度予算額		1,400,000
執行率		28.27%

※小矢部市ホームページからご覧いただけます。

12月定例会の日程(予定)

- 4日(金) 10時 本会議(提案理由説明) 全員協議会
 - 7日(月) 議案調査日
 - 8日(火) 議案調査日
 - 9日(水) 議案調査日
 - 10日(木) 9時 議会運営委員会
 - 10時 本会議(代表・一般質問)
 - 11日(金) 10時 本会議(一般質問)
 - 14日(月) 10時 駅周辺整備特別委員会
 - 14時 民生文教常任委員会
 - 15日(火) 10時 産業建設常任委員会
 - 14時 人口対策等特別委員会
 - 16日(水) 10時 総務常任委員会
 - 17日(木) 14時 委員長会議
 - 18日(金) 10時 議会運営委員会
 - 13時 全員協議会
 - 15時 本会議(質疑・討論・表決)
- ※オレンジ色の文字はケーブルテレビ放送予定録画映像インターネット配信予定です。

10月22日(木)と23日(金)に開催した議会報告会は無事終了いたしました。ご多用のところ、ご来場頂きました皆様方には心から御礼申し上げます。議会報告会の模様は、次号の議会だより(No.180)でご紹介します。



会務報告

平成27年6月27日から9月3日まで

年月日	件名	摘要	開催地
27. 6. 29	庄川左岸地区用排水対策促進協議会総会	・議事 平成26年度事業報告、収支決算、積立金特別会計収支決算 平成27年度事業計画（案）、収支予算（案）、積立金特別会計収支予算（案）、 役員を選任について ・報告事項 国営総合農地防災事業・附帯県営農地防災事業等の執行状況及び平成27年 度執行予定について	砺波市
6. 29~30	高岡地区広域圏事務組合議会行政視察	・くりーんプラザ・龍（龍ヶ崎地方塵芥処理組合） ・鹿沼市役所	茨城県龍ヶ崎市 栃木県鹿沼市
6. 30	平成28年度重点事業要望	・富山県出先機関 ・あいの風とやま鉄道（株）	高岡市・小矢部市 富山市
7. 1	平成28年度重点事業要望	・富山県庁 ・富山河川国道事務所	富山市 富山市
	富山県日台友好議員連盟総会	・議事 平成26年度事業実績報告、収支決算報告等について ・講演	富山市
7. 3	平成28年度重点事業要望	・北陸農政局	金沢市
	日中友好富山県地方議員連盟総会	・議事 平成26年度事業実績報告、収支決算報告、役員を選任等について ・記念講演	富山市
7. 6	国道471号整備促進期成同盟会総会	・議事 平成26年度事業報告、歳入歳出決算 平成27年度事業計画（案）、歳入歳出予算（案）、役員を選任について ・報告事項 国道471号の整備状況について	砺波市
7. 7	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	・議事 平成26年度事業報告、一般会計歳入歳出決算、積立金特別会計歳入歳出決 算 平成27年度事業計画（案）、一般会計歳入歳出予算（案）、積立金特別会計 歳入歳出予算（案）、役員改選（案）について	高岡市
7. 8~9	平成28年度重点事業要望	・北陸地方整備局 ・国土交通省、農林水産省、総務省、NHK及び県選出国會議員等	新潟市 東京都
7. 10	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	・議事 平成26年度事業報告、歳入歳出決算 平成27年度事業計画（案）、歳入歳出予算（案）、役員を選任（案）について ・報告事項 主要地方道砺波小矢部線の整備状況について	津沢コミュニティ プラザ
7. 19	北陸新幹線新高岡駅「かがやき」停車実 現期成同盟会総会	・活動報告及び新高岡駅の現状について ・今後の活動方針について	高岡市
7. 23	全員協議会	・おやべ光のまちプロジェクト第1弾「ハートアイランドイルミネーション」 の実施について他1件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・議会だよりNO.178について	第二委員会室
7. 27	利賀ダム建設促進期成同盟会総会	・議事 平成26年度事業報告、歳入歳出決算 平成27年度事業計画（案）、歳入歳出予算（案）について ・報告事項 利賀ダムの整備状況について	砺波市
7. 29	日韓友好議員連盟総会	・議事 平成26年度事業実績及び収支決算 平成27年度事業計画（案）及び収支予算（案）、役員を選任及び顧問の委嘱 について ・講演	富山市
7. 31	人口対策等特別委員会	・近隣市町における税金及び公共料金等の比較について報告	第二委員会室
8. 3	国道359号改修促進期成同盟会総会	・議事 平成26年度事業報告、歳入歳出決算 平成27年度事業計画（案）、歳入歳出予算（案）について ・報告事項 国道359号の整備状況について	砺波市
8. 4	総務常任委員会	・「小矢部市防災ハンドブック2016」協働発行に関する協定について他1件 報告	第二委員会室
	事務事業評価	・防災事業費他3事業	

■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
27. 8. 4	砺波地方衛生施設組合議会定例会	・ 議事 平成27年度一般会計補正予算(第1号)及び平成26年度一般会計歳入歳出決算について等	高岡市
8. 7	民生文教常任委員会	・ 介護保険施設での研修状況について他4件報告	第二委員会室
	事務事業評価	・ おやべ型1%まちづくり事業費他6事業	
8. 10	庄川・小矢部川改修促進期成同盟会総会	・ 議事 平成26年度事業報告、歳入歳出決算 平成27年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、役員を選任について等 ・ 報告事項 庄川・小矢部川の整備状況について	高岡市
	岸渡川改修促進期成同盟会総会	・ 議事 平成26年度事業報告、歳入歳出決算 平成27年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、役員を選任について ・ 報告事項 岸渡川(黒石川)の整備状況について	高岡市
	砺波地方介護保険組合議会運営委員会	・ 8月定例会提出議案について	砺波市
8. 11	砺波地域消防組合議会運営委員会	・ 8月定例会提出議案について	砺波市
8. 18	産業建設常任委員会	・ 小矢部フロンティアパークの分譲価格の改定について他1件報告	第二委員会室
	事務事業評価	・ 集落営農法人化支援事業費他4事業	
	駅周辺整備特別委員会	・ 石動駅乗降客数の調査結果について他3件報告	第二委員会室
8. 20	富山県市議会議長会臨時総会	・ 議事 平成26年度歳入歳出決算、北信越市議会議長会評議員会提出議案等 ・ 小矢部市提出議案 能越自動車道の一元管理について	滑川市
	県知事との懇談会	・ 県政概要説明 ・ 要望事項要旨説明及び要望事項に対する説明 ・ 小矢部市要望事項 一般国道8号の芹川～桜町間の交通安全対策事業の促進及び俱利伽羅トンネル整備について	
8. 24	東海北陸自動車道建設促進同盟会・東海環状道路建設促進期成同盟会合同総会	・ 議事(東海北陸自動車道) 平成26年度事業報告、歳入歳出決算報告 平成27年度事業計画、歳入歳出予算、決議	東京都
8. 25	全員協議会	・ 小矢部市人口ビジョン骨子(案)及び総合戦略骨子(案)について他1件報告	第一委員会室
	議員懇談会	・ 議会報告会について	第二委員会室
	議会運営委員会	・ 9月定例会について	第二委員会室
	砺波地方介護保険組合議会定例会	・ 議事 平成27年度特別会計補正予算(第1号)、平成26年度一般会計決算及び特別会計決算、平成26年度養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計決算について等	砺波市
8. 31	砺波地域消防組合議会定例会	・ 議事 平成27年度砺波地域消防組合一般会計補正予算(第2号)、平成26年度砺波地域消防組合一般会計歳入歳出決算認定について等	砺波市

編集後記

今年3月の北陸新幹線金沢開業や今年7月東部産業団地にオープンした北陸初のアウトレットモールの影響からか、全国の地方議会からの行政視察が大幅に増えています。9月末時点で、視察件数は前年度比75%増の14件、視察人数は112%増の89人となっております。今後さらに増えることが確実な状況です。

交通利便性が高まったことは明白ですが、行政視察件数の多寡は施策の先進性や魅力度をはかるバロメーターといえるのかもしれませんが。特色ある施策やまちの個性を生かした施策を着実に講じていくことで、さらに選ばれる自治体を目指していかなければなりません。

今後とも、市当局との議論を通じて魅力ある施策の立案に取り組んで参りますので、市民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願ひします。

次回の「議会だより」は、平成28年2月の予定です。

(議会だより編集委員一同)